新·公民連携最前線

<u></u>_∿ा∎₽₽₽₿₺₯⟨₁₧₽₲

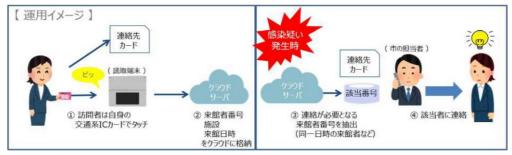
全国初、新型コロナ対策に交通系ICカードで来館記録、 北九州市の文化施設

萩原 詩子=ライター

2020.05.22

5月14日に福岡県の非常事態宣言が解除されたことを受け、北九州市では19日に市立美術館(本館)と、いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)が開館した。市は新型コロナウイルス対策のため、交通系ICカードを使った文化施設の来館者登録システムを試験的に導入する。来館者の感染が疑われた場合、同じ日時に居合わせた人にすみやかに連絡できるようにするものだ。市によれば、交通系ICカードを利用した同様の取り組みは全国初。

■来館者登録システムの概要



(運用の流れ)

- ① 来館者は施設入口等で自身の交通系ICカードを端末にタッチ→来館者番号を発行。 「連絡先カード」に氏名、連絡先、来館者番号を記入(初回来館時のみ)。
- ② 「来館者番号 (独自番号)」「施設」「来館日時」のデータをクラウドに格納・管理。
- (以下、感染が疑われる事例が発生した場合)
- ③ システムにて、連絡が必要となる「来館者番号」を抽出 →「連絡先カード」と突合。
- ④ 該当者を特定し、市の担当者から電話等で連絡。

[画像のクリックで拡大表示]

(資料:北九州市)



5月19日の開館を告知する「いのちのたび博物館」のウェブサイト [画像のクリックで別ページへ]

来館者が施設入り口の端末にICカードをタッチすると、6桁の「来館者番号」が付与される。この番号と氏名、連絡先を「連絡先カード」に手書きで記入する。

来館者番号と来館施設、日時のデータをクラウドサーバに保管し、感染疑いが発生したときに濃厚接触の可能性がある来館者番号を抽出。市の担当者が該当の番号と連絡先カードを付き合わせて来館者に連絡する仕組みだ。プライバシー保護のため、氏名と電話番号はサーバにアップしない。

連絡先カードの記入は任意で、複数で来館した場合は代表者のみの記入でもかまわない。ICカードを一度登録すれば、以後は他の施設でも記入せずに来館記録を残せる。ICカードを持っていない場合は、来館のたびに記入すれば同様の対応が受けられる。

国(接触確認アプリ)や大阪府(大阪コロナ追跡システム)が予定する濃厚接触探知はスマートフォンを利用する。これに対して、北九州市では、交通系ICカードを採用した。市の担当者は「コロナ対策で最も守りたい高齢者や小さな子どもはスマートフォンを持っていないことも多い。交通系ICカードなら所有率が高く、操作もタッチだけで簡単だ」と理由を説明する。

25日以降に順次再開の美術館、博物館でも導入・検証

システムは市内のベンチャー企業レセプター(小倉北区)が開発した。同様の仕組 みを市はすでに環境学習施設で来場ポイントの付与に利用しており、今回コロナ対策 向けに応用した。

5月19日の市立美術館(本館)といのちのたび博物館の再開に先立って、18日には感 染防止策のリハーサルを実施した。来館者登録システムの試行のほか、発熱をチェッ クするサーモカメラの配置、動作確認、体調がすぐれない来館者への対応確認、窓口 受け付けのシミュレーションを行った。



■北九州市立美術館(本館)での感染防止策のリハーサル

飛沫防止策を施したチケットカウンター (写真:北九州市) [画像のクリックで拡大表示]



マスクを忘れた来館者に手作りマスク を案内(写真:北九州市) 「画像のクリックで拡大表示】



サーモカメラ(写真:北九州市) [画像のクリックで拡大表示]

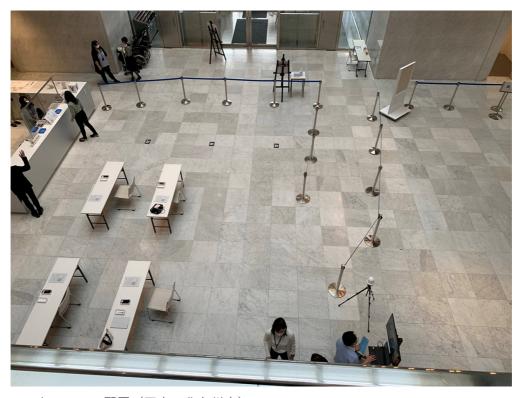




交通系ICカードの端末(写真:北九州市)

連絡先カード(写真:北九州市) [画像のクリックで拡大表示]

[画像のクリックで拡大表示]



エントランスの配置 (写真:北九州市) [画像のクリックで拡大表示]

来館者登録システムは、25日以降に順次再開する漫画ミュージアム、文学館、松本 清張記念館、美術館(分館)にも導入する予定だ。市は今後、各施設における作業実 態を確認しながら、実施する期間や施設を検討していくという。

この記事のURL https://project.nikkeibp.co.jp/atclppp/PPP/report/052100240/

Copyright 2015-20 Nikkei Business Publications, Inc.

このページに掲載されている記事・写真・図表などの無断転載を禁じます。著作権は日経BP社、またはその情報提供者に帰属します。

掲載している情報は、記事執筆時点のものです。